

次世代IPネットワーク推進フォーラム 第2回研究開発・標準化部会会合 議事録

日時:平成19年3月28日(水) 16:30~17:40

場所:都市センターホテル 6階 601会議室

出席者

研究開発・標準化部会長 浅谷耕一(工学院大学)

戦略検討WGサブリーダー 三澤康臣(KDDI株式会社)

ホームネットワークWGリーダー 丹康雄(北陸先端科学技術大学院大学)、
他40名程度

総務省

通信規格課 田中課長、松浦様、川崎様

電気通信技術システム課 荻原課長補佐

事務局

情報通信研究機構 中道室長、大堂主任研究員

配付資料

資料1:戦略検討WG報告書

資料2:ホームネットワークWG報告書

参考資料1:研究開発・標準化部会(第1回)議事録

参考資料2:研究開発・標準化部会 設置要綱

参考資料3:研究開発・標準化部会 構成員一覧(平成19年3月16日現在)

議事内容:

1. 開会

2. 総務省挨拶[田中課長]

2つのWGが設置され活発な活動が行われており、敬意を表したい。

次世代IPネットワーク、NGNも導入フェーズに入ってきており、すでに導入している国もある。標準化ではITUで昨年リリース1のスコープ、アーキテクチャなどの標準化が完成し、今年の9月にはプロトコルも完成予定であり、実質、リリース2についての議論が始まっている。4月に行われるNGNのGSI会議はスタディレベルの会合であるが、それへの対応として、日本からも50件近い提案を行う予定である。リリース1はヨーロッパが先行していたが、これからスタートするリリース2については、日本の技術をもって先導していきたいと考えている。リリース2の標準化に向けてフォーラムの場で自由な意見交換を行っていただきたい。

また、ホームネットワークについては、ITUにおいても議論が進んできている。NGNの中でも重要な分野であり、IPTVなどのキラーアプリについて積極的に検討が

進められている。ITU の検討体制も様々な SG で活動が行われており、引き続き産学官が自由に意見交換し、日本からの標準化活動につながるようお願いしたい。

3. 配布資料確認

事務局により、配布資料の確認がなされた。

4. 議事

- (1) 戦略検討 WG の活動報告及び今後の活動方針について
資料1に基づき、戦略検討 WG 三澤サブリーダーより説明。

質疑応答:

特になし

- (2) ホームネットワーク WG の活動報告及び今後の活動方針について
資料2に基づき、ホームネットワーク WG 丹リーダーより説明。

質疑応答:

久保田サブリーダー: 標準化に関しては別組織が行うのでそこで議論を行う。ワーキングとしては、世の中に対しロードマップを提示していくことが必要である。5 ページの研究開発の課題について、他機関と連携して検討していただきたい。

丹リーダー: ロードマップについては同感である。関係者が横断的に集まっているので、俯瞰できる全体像を作りたい。まずはレイヤーの低いところから始め、サービス、ビジネスに関する議論は今後進めていきたい。今後の進め方としては先行的に行われているグループの状況を聞く機会を別に設け、その話も踏まえた上でこのネットワークとしての要求仕様のすり合わせを行いたい。

久保田サブリーダー: NGN にとってアプリケーションは大きな役割を果たす。難しいことではあるが、連携して議論させていただきたい。

三澤サブリーダー: 連携が重要である。5 ページの検討課題案の中で、エンド・トゥ・エンド QoS については戦略検討 WG のインフラ系技術 SWG のテーマと重なっている。認証機構はセキュア系技術 SWG と連携が必要である。障害切り分け・運用についてはサービス系技術 SWG と連携していただきたい。

丹リーダー: 世の中の既存の団体と重複する部分もあるので、動向を踏まえて進めていきたい。

田中課長:総務省でホームネットワークの接続試験を3月に3日間実施した。普及促進のためのPRが必要であり、引き続き行っていきたい。そのベースとなる議論はホームネットワークWGで検討していただくことになるので、こちらの活動とも連携していきたい。ホームネットワークは様々な活動があるが、連合フォーラムの場も必要であり、このフォーラムがその核となって発展していただければよい。

浅谷部会長:標準化との関係で、SG15を中心にITU-T側でもできるだけ調整を行おうとしている。このような動きとも連携していただきたい。ロードマップの作成はJCの大きな目標である。

(3)その他

NGN WSの開催について

久保田サブリーダーより説明

- ・ IEEE CEC & EEE の学会(国際会議)と共催。
- ・ 今年7月23日から25日に東京で開催。23日にWS開催。
- ・ NGN-EC2という名称で、すでにCallペーパーが出ている。
- ・ アプリケーションの議論と本フォーラムの国際的知名度の向上を目指す。
- ・ フォーラム参加機関からの論文投稿、参加をお願いしたい。

カメラレディ:4月30日、投稿締め切り:3月30日

- ・ WSについては同時通訳の用意を検討している。

浅谷部会長:4月30日に間に合わせる形で、柔軟に対応する予定である。WSの参加についてもお願いしたい。

次回の予定について

事務局より説明。

- ・ 次回は年内を目途に開催予定である。詳細はWGの状況を踏まえ、別途連絡する。

6. 閉会

以上